

第3学年 道徳学習指導案 (略案)

- 1 日時 令和4年 12月 15日(木) 4校時
 2 主題 C-11 [公正、公平、社会正義]
 3 資料 「祭りばやしが聞こえる」(旧きらめき P.38)
 4 ねらい 部落差別が人々の幸せな生き方を阻んでいることに気付き、仲間と共に差別の解消に努めようとする意欲を育てる。

5 人権教育の視点に立ったねらい

(1)教材について

- ・ 部落差別を解消してきた過程を知り、それは社会全体の人権問題の解消であったことを理解する。また、これからの生活で人権を守るために、差別に気付き差別をなくそうと行動できる意欲を育てる。

(2)自他を大切に学習規律

- ・ 自分の考えをもち、互いの意見を交流し合うことで、差別を見抜く力を養い、差別をなくそうとする行動に気付く。

(3)人権教育に関するキーワード

- ・ 全ての人の幸せにつながる。 ・ 自ら解決すべき問題である。

6 本時の流れ

	学習活動(主な発問と予想される生徒の反応)	指導上の留意点と人権教育の視点
導入 5分	<p>○ 学習の流れを提示する。 ○ 何らかの理由で結婚に反対されたとき、あなたは どうするだろうか?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;">めあて:部落差別の解消のためにできることを考える</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説得する、無視して結婚する、あきらめるなどの意見が出ると思われる。 ・ 中心発問につなげることを意識する。
展 開 35分	<p>① 資料の範読(5分)</p> <p>② 部落差別に直面したときの人々の思いや行動について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;">発問① なぜこの家族は乗り越えられたのだろうか?</div> <p>個人思考(7分) ↓ 全体に返す(3分)</p> <p>③ 部落差別に直面した「わたし」はどうするだろう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;">発問② あなたならどうやって乗り越えますか?なぜそうするのですか?</div> <p>個人思考(7分) ↓ グループ思考(7分) ↓ 全体思考(6分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「結婚となると」「うちだけですまない」など、資料の中に見られる差別発言について確認する。 ・ 差別している両親自身の苦悩する姿についてもとらえさせる。 ・ 「茂と和子の強い思い」「家族、仲間との信頼関係と支え」「ゆるがない気持ちが人の心を動かす」ことに注目させる。 ・ 「あきらめる」「無視して結婚する」は自分も周りも幸せになれないし、差別もなくなることに気付かせる。 ・ グループの役割分担を明確にする ・ 話合いの際には、他者の人権を尊重する聞き方・反応のしかたを心がけさせる。 ・ 問い返しにより考えを深めさせる。
まとめ 10分	<p>○ これまでの同和学習をふり返って感想を書く。</p>	<p>キーワードに留意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての人の幸せにつながる。 ・ 自ら解決すべき問題である。